

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・前年の11月中旬以降から今年の1月中旬頃まで、当県は新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数が大きく低下した。今年はその反動や新型コロナウイルス感染症への対応が5月以降変化していることもあり、今後の来客数は前年比で大きく伸長すると推察している。
	◎	コンビニ（店長）	・年末のイベント等もあるため、先行きは良くなる。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年齢層にかかわらず、団体利用は通常どおりに戻っている。年末に向けて宴会予約が増えるとみている。
	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年末年始の間合せ等も徐々に増えてきており、飲み会の機会も必然的に増えてくると考えられる。
	◎	都市型ホテル（支配人）	・個人、法人の利用はいずれも伸びている。
	○	百貨店（店長）	・現状同様の動きが続くと考えている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地自動車メーカーの発展のお陰で、地域が活性化している。早く自動車等の耐久消費財にまでお金が回ることを願いつつ、販売促進の努力を続けている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・車両の動きが増加しており、受注残も順調に推移している。
	○	一般レストラン（経営者）	・行楽シーズンなのでにぎわいはあると思うが、新型コロナウイルス感染症等の流行がどう影響するかが問題である。こればかりは予想が付かない。
	○	旅行代理店（従業員）	・販売量、単価共に上がっている。まだ人材を確保するまでにはいかない。雇えるかどうか鍵である。
	○	タクシー（経営者）	・夜の動きが昼の動きよりも良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	通信会社（経営者）	・見積依頼が売上につながっていけば、やや良くなる。
	□	商店街（代表者）	・秋に入り気温も落ち着き、行楽シーズンで人が動き始めると活気が出る。一方、年末に向けた動きでは、物価高騰の影響が出ないかが懸念される。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・政府の補助が決定すれば、物価が幾らか安定してくるのではないかと。そうなれば客の買物も増えてくるだろう。当店で扱っている豚肉は高値で推移していたが、今、1割以上値下がりしている。売行きが悪く品物が余ってきたのか、デフレの傾向がある。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・観光地を訪れる人々からは、旅行を満喫している様子が伝わってくる。久しぶりに旅行に出たという人や、外国人旅行者も相変わらず多く、この状況は2～3か月後の紅葉シーズン終了時まで強く維持される。海外情勢が不安定な点と受入れ側の人手不足が懸念材料ではある。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・今のままだと、景気は変わらない。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	・景気自体はそれほど大きく変わらないような気がするが、諸経費、燃料代、電気代、従業員の最低賃金の上昇等により、企業の利益幅はかなり減っていくとみられる。
	□	百貨店（営業担当）	・緩やかではあるが、人流は回復している。しかし、物価高が消費を押し下げている。景況の変化はみられず、当面は現状維持が予測される。
	□	スーパー（総務担当）	・政府も対策を打ち出しているが、大きくは変わらないと思う。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も夏よりは少し落ち着いて、今月は受注も増加している。客のマインドが上昇し、購買意欲が湧いてくることを期待している。もう1段の景気上昇が地方まで浸透することに期待したいが、なかなか地方まで回ってこないことを心配している。
□	コンビニ（店長）	・今の状況からして、年末の客足の増加は余り期待できそうにない。	
□	衣料品専門店（統括）	・この3～4年は新型コロナウイルス感染症の問題が、かなり尾を引いた。商売に大打撃だったが、今年新型コロナウイルス感染症も落ち着き、自由な商売ができるということで、祭礼用品を扱っている当社としては、大変良い状況に戻っている。現在は例年以上に売上が良いほどである。	

□	自動車備品販売店（経営者）	・今、当店に来る客は将来のことについて不安を抱き、かなり警戒をしている。身近なところでも子供は余り増えていない。細かく制限を付けたりと、税金を取ったりと、何をするか分からない雰囲気から、将来的に良くなるという気持ちを持たず、お金を使う気分や気運がかなり閉ざされた傾向にある。
□	住関連専門店（仕入担当）	・特売日に来客数が集中する傾向が続いている。こうした傾向は当分続き、売上は元より、利益率の確保の厳しさも続く。
□	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・依然として物価上昇が続いており、人件費については最低賃金の引上げ等もある。また、為替相場が1ドル150円前後であるため、その分インバウンドの効果がかなり見込めるとは思う。だが、インバウンドについては、やはり中国からの観光客の動向がかなり影響するため、日中関係や処理水等の問題が解決方向に向かわないと、現状ではどちらとも言えない。
□	都市型ホテル（経営者）	・大人数の宴会や会食について、一旦やらなくなったOB会、同窓会、各種組合等の団体の会食は戻ってこない。
□	都市型ホテル（総支配人）	・インバウンドに関しては、思ったよりも処理水問題の影響を受けておらず、しばらくは好調が続くとみられる。
□	旅行代理店（営業担当）	・物価上昇次第である。レジャー産業の性格上、消費者の生活が最低限落ち着いてからの需要となる。
□	タクシー運転手	・まだ地方では、タクシー利用客は増えそうにない。
□	通信会社（社員）	・2～3か月では変わらない。年明け以降、政府や自治体からのエネルギー関連の補助金等がなくなった場合の影響は少なからずあると考える。現在の生活圏では車は欠かせないため、ガソリン代の高騰は、生活していく上で非常に負担が掛かる。
□	通信会社（営業担当）	・国際的な影響から運搬費等の物流コストが上昇し、物価を押し上げる懸念が払拭できない。
□	通信会社（局長）	・ここ数か月の物価高は変わらず、客の状況も変わらない。賃金等が増えるといっても、すぐ変わるわけではないので、変わらない。
□	テーマパーク（職員）	・暖冬等の予報により来園者の増加を期待するものの、コロナ禍での外出控えの反動により、海外や国内遠距離移動等、行動制限のない旅行となり、旅行先にも変化が生じているのではないかとすると、良くなるようには思えない。
□	ゴルフ練習場（経営者）	・外国人の受入れ、少子化対策、経済政策が不十分なので、変わらない。
□	設計事務所（所長）	・政府が何か対策を講じなければ、景気が良くなることはない。
□	住宅販売会社（経営者）	・バブル景気のときのような高騰はないにしろ、微増でも地価が上がれば景気回復といえるかもしれない。
□	住宅販売会社（経営者）	・飲食店関係は来店客が少なく、店を閉めているところが多くなっている。事務所、出張所関係でも仕事量が減っているのか分からないが、撤収が目立ってきている。
▲	百貨店（営業担当）	・不透明な世界情勢、止まらない資源価格の高騰や物価高、人件費の高騰等、一向に改善の兆しがみえない。そうした不安感が客や一般消費者に広がっている。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・当店の客のほとんどが高齢者なので、今、インフルエンザと新型コロナウイルスの感染拡大で、また自宅待機を選択しているのかという気がする。そうすると足腰が弱ってしまっ出てこなくなるという悪循環に陥ってしまう。日々、本当に客が来ない状況で、少しずつ悪くなりながら、これが続いていくのではないかと。
▲	住関連専門店（店長）	・来客数の微減は継続しており、買い控えが少し進んでいる。
▲	一般レストラン（経営者）	・例年、年末年始が落ち着くと動きがなくなる。このまま物価高が続いて給料が上がらなければ、当然のことだが景気は悪くなる。インバウンドとは関係のない地域は厳しくなりそうである。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・人手不足の状況下で、最低賃金が大幅に引き上げられたことを契機に、更に募集人件費が上昇傾向となっている。既存社員の給料にも波及することとなり、人件費全体が押し上げられる。食材費や経費を含むコスト全般の上昇により、収支確保が難しい状況が当面続いていく。

	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、料飲、宴会いずれも、12月の確定した予約は若干弱いものの、今後、団体からの受注が入り、間際で伸びてくると予想している。医療関係の顧客から、忘年会、新年会絡みの受注をしているが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのまん延状況によっては、キャンセルになりかねず、懸念材料である。
	▲	旅行代理店（経営者）	・旅行シーズンは12月から下降線になるため、やや悪くなる。
	▲	旅行代理店（所長）	・オフシーズンに入るため、来訪者は大きく減る。外国人の来訪者は順調に伸びているため、日帰りではなく宿泊利用の伸びに期待したい。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・予約の伸び悩みによって、価格競争が激しくなることが懸念される。一方、人件費やコストの増加があるため、収益は縮小していくとみている。
	▲	美容室（経営者）	・地元の中堅スーパーが倒産した影響で、解雇されたパート従業員である顧客の多くを失いかねない。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・商店や町工場等、廃業する自営業者が目立って多くなっている。同業者の会合でも、人手不足と離職者に翻弄され、このままでは立ち行かないため、完全予約制を導入する等、業務縮小を模索する考えが主流になりつつある。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・様々な値上げによる支出増加もあるので、今冬の天候にもよるが、不要不急の修繕は少ないと考えている。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・この先、客に明るいニュースはないのではないかと。我々の仕事でも、業者間での業績がかなり悪く、当店も取引業者が倒産して1000万円近くの負債が発生している。こうしたことがまかり通る世の中では、どうしようもない。政権交代して、トップに何とかしてもらいたい。
	×	スーパー（商品部担当）	・人口減、競合店の出店、物価上昇等、良くなる理由が1つも見当たらない。なかでも競合店の出店については、売上が2割ほど落ち込む可能性もあり、厳しい環境になることは間違いない。
	×	家電量販店（店長）	・報道等による増税についての発信が、一段と消費に悪影響を及ぼす可能性が高い。減税の話題も出ているものの、消費に与える好影響は限定的だとみられる。
	×	家電量販店（店員）	・暖冬予想のため、季節商材の伸びは期待できない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・いまだに商材の入荷数や納期が安定しない。
	×	通信会社（経営者）	・壊れないと買わないという流れは、今に始まったことではない。物価上昇が続くと、少しでも安い物を買おうとインターネットで購入する客が増える。若しくはインターネットの販売価格を提示して、値引きを要求するケースも増えている。結果、仕入価格は上がるものの、売値は客に買いたたかれるという厳しい状況である。
	×	通信会社（総務担当）	・販売拠点を集約したため、販売機会の損失が増える。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・取引先の部品調達の不安は、ほぼ解消されてきている。減産はないと思うが、輸出面での不安はある。受注量も戻りつつあり、良くなっている一方で、人材確保の面で不安がある。まだ先の見えない状況である。
	○	経営コンサルタント	・物価上昇やインフレ基調のなかで、賃上げによる個人消費向上の実感が乏しい。ただし、中小企業の経済活動は順調な側面もややうかがえるため、冬のボーナス次第だが、近い将来は上昇すると期待される。
	○	司法書士	・業界全体が法律の改正で、仕事が伸びつつあるところなので、今後はもう少し良くなっていくものと考えている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・戦争や値上げ等、マイナス要因が多くあり、買い控えで家計を守る動きになっている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・これから年末に向かい、単価の上がるような材料はまだない。
	□	金属製品製造業（経営者）	・取引先の業況から予測すると変わらない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車業界は受注残を多く抱えており、高水準の稼働が続く見込みである。ただし、ロボット業界の一部では生産回復時期が不透明な状況が続く。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・日本のリーダーや政治家の指導力に問題が多すぎるので変わらないと感じている。

	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・これから上がる要素は見当たらず、落ち込む要素も見当たらない。当社の能力の8～9割しか仕事がないような状況で、結構苦しんでいる。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・ビル関係の仕事を主に行っているが、受注や生産計画に大きな変化はなく推移する予定である。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2か月ほどは若干良くなっているものの、変更が多く、2～3か月先はどうか全く分からない。現状と変わらないのではないか。
	<input type="checkbox"/>	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高がいまだに続いている状況のため、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・周辺の状況を確認したところ、先行きは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	社会保険労務士	・中東情勢が大きく悪化しない限り、今と余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化はみられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・今年度の事業計画が縮小しているため、売上に影響が出るのではないかと懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・今年は暖冬予測もあり、年末に向かって冬物家電、インテリア、寝具等の調整があり、2割ほど物量は抑えられる予定である。全体的な輸送量も2割ほど落ち込む予測だが、車両不足もあり、利益確保は難しくなりそうである。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	・当社では、9月末現在で決算期まであと半年が残っているが、受注が前年比10%減少している。今後の受注に期待している。
	<input type="checkbox"/>	建設業（総務担当）	・発注量が明らかに少なく、この先も発注が出るという話もないため、非常に不安である。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	・既存の管理や清掃業務の値上げを取引先に依頼しているところだが、取引先も金額にはシビアで、金額が上がるなら内容を減らしたい等といわれてしまい、売上や利益の確保が難しい。最低賃金上昇による人件費の増加、インボイス制度、電子帳簿法義務化等への対応等でも経費が掛かるため、利益はますます厳しくなる見込みである。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・派遣のオーダーが多くなり、採用数が増える予測している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・全般的に物価は、電気料金の値上げ等による生産関係でのメリットやデメリット、天候の影響による生育の悪い部分もあつたりと、かなり消費者の財布には影響してくると予想される。人員確保の難しさや賃金の上がらない状況は結構厳しいため、今後も消費者は財布のひもをかなり締めていくとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・当地区は外国人観光客が非常に多く入ってきており、近隣の経営者に話を聞くと、先行きは為替がどう動くかで影響を受ける。物価の上昇と為替の不透明感から、どちらとも判断できない。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・景気悪化のため、中小企業は採用も厳しい。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・主な産業の新規求人数の前年同月比をみると、医療と福祉分野では増加傾向で推移している一方で、建設業、製造業等では増加と減少を繰り返している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・景気動向が不透明であるため、今後、政府の経済対策がどのように行われるか次第で変化していく。
	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*
<input type="checkbox"/>	—	—	